

高知市子ども・子育て支援事業計画・重点施策の今後の取組方針に対する評価とご意見等（要約版）  
（高知市子ども・子育て支援会議委員による評価）

重点施策	評価 (平均)	主なご意見等
①健やかな子どもの誕生への支援	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産後のケアは核家族の家庭には必要と思われる。</li> <li>・ 広くだれでも相談が出来る場所が必要となってくると考えられる。</li> <li>・ 妊婦さんの中には、支援センターに出向いて母子手帳の交付を受ける、またその際に面接を受けることに対して、二度手間感、義務感、強制感等の負の感情を抱く者もいるのではないだろうか。面接率の向上を図るためには、医療機関等との連携を図り、妊婦の負の感情を解消するような工夫が必要であると考えます。</li> <li>・ 色々な事業が実施されているが、それを担う人の確保と人材育成と専門性向上のために、継続性ある人員配置をお願いします。</li> <li>・ 妊娠期からの切れ目ない支援や付帯する施策によって、早産や低体重児の出生が減少しているのは評価できる。</li> <li>・ 今後の課題への対応と見直しによって、さらに減少することを期待すると共に、多角的な角度からの原因調査や支援の質と数の充実を期待する。</li> <li>・ 地域の人たちが妊産婦を孤立させない為に、気を付けて励ましの言葉をかけるなどの大切さをPRする取り組みを強化されたい。</li> <li>・ 若い世代への早産リスクの要因や予防についての啓発をできる限り増やしてほしい。</li> </ul>
②より質の高い教育・保育の推進	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保幼小連携に放課後児童クラブも加えるべき。</li> <li>・ 質の高い教育、保育を目指すことは必要であるが、その前に人材不足で現場は悩んでいる。</li> <li>・ 子育てでは、道徳・教育面など家庭では十分にできない部分もあるため、その部分を担う立場にある教職員のレベルアップは必須であります。研修実績が示されていますが、研修対象者が受講できているか検証（データを示す）が必要だと思えます。毎年受講している方がいる一方で、一度も受講できていない方がいるようではレベルの差がでてしまうのではと思います。全体のレベルアップのためにも全員受講と研修内容の充実に取り組んでください。</li> <li>・ 幼児期の教育、保育を充実させるためには、教育、保育にかかわる職員の資質向上を図ることが不可欠である。そのためには、各園の職員が研修に参加しやすくなるように、園の職務体制や条件の整備を進めることが必要である。</li> <li>・ 家庭支援推進保育士や子ども・子育て相談支援員は自らの役割をしっかりと果たせるように成長してほしい。</li> <li>・ 園内で職員が話し合い、情報交換ができ、成長できるようにして頂きたい。</li> <li>・ 保育園・幼稚園については、数の充実は計画通りに進められており、質の向上の一つである職員の資質向上は非常に多数の実績があり、頭が下がる思いである。保・幼・小連携を強化し、子どもの成長を共有することが望ましい。今後はそこに明確な目標があるとなお良い。</li> <li>・ 保幼小連携については、施策の実施率が非常に高く結果も出ている為、かなり評価できる。</li> <li>・ 職員や保育士が研修を受けやすい体制整備や、労働条件の改善等を合わせて検討してほしい。</li> </ul>
③地域ぐるみの見守り・子育て支援体制の充実	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域子育て支援拠点事業の利用者が多いことは、子育て家庭のニーズが高いということが伺われます。親子が安心して過ごすことができるこのような場を充実していただきたいと思えます。</li> <li>・ 保育施設だけでなく、個別で支援して下さる大人が身近にいるファミリーサポートの存在は、保護者を含めた子ども依頼会員にも援助会員にも子育てにおける素敵な関係ができると思えます。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域子育て支援センターを南部にも設置を。</li> <li>・ 子育て中のママが集まって楽しんでいる，利用者が共に話し合い相談できる場所がある事は良いと思います。</li> <li>・ 支援拠点の充実が計画通りで，今後の方向性も良い。ファミサポと親子絵本は利用者が横ばいか減少傾向にあるので，今後の対策を実施すると共に，真の原因追及も必要。</li> <li>・ ファミリーサポートセンターの存在が，該当者に十分に知られていないのでPRを行い，依頼会員，援助会員の増大に取り組んでほしい。</li> <li>・ 地域ぐるみの見守り体制は重要だと思いますが，保護者同士の交流，相談しやすい環境づくりが最も必要だと思う。</li> <li>・ 地域子育て支援センターのおかげで子育て中の方が，ものすごく助けられていると思います。</li> </ul>
④児童虐待の発生予防	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童虐待の発生には多様な要素が関係していると思われます。多くの保護者は子どもの育ちを知らない，子どもとの関わり方がわからない，相談にのってもらえる人が側にいないなどがあると思われます。虐待への対応に併せて，子育て家庭にかかわる機関が実際に親子で楽しく遊ぶ遊び方やいい関わりをしている場面を共感して認めるなど，楽しさを共有する取り組みも必要ではないかと思えます。支援を充実させるために保健・医療・福祉の領域だけでなく教育を加えていただきたい。虐待に対応する関係機関の専門性の強化や関係機関の連携が進んできたことを大変望ましく思います。</li> <li>・ 虐待については見えない部分が多い一時保護や施設で一時預かるなど親が育児で大変な時は気軽に利用できれば良いです。</li> <li>・ 担当職員が対応に悩み孤立することがないよう組織として対応できる体制を維持してください。</li> <li>・ 児童虐待の予防という困難な課題に対して，積極的に取組んでいる。今後はその良い結果が見える為のデータ収集や表現が必要であり，それこそが高知市民が安心して子育てできる安全な街づくりの可能性になると考える。</li> <li>・ 多岐にわたる取組み事業では，各関係課の連携が必要となりますが，コーディネーターの養成もできればお願いしたい。</li> </ul>
⑤障害児支援の充実	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人一人の障害の特性に応じた支援が必要であることからサポートファイルは重要であると考えます。県の中でも高知市は大きな存在であることから，県との連携も踏まえた取り組みが必要になると思えます。サポートファイルを効果的に活用することと，サポートファイルを必要とする子どもが持つことができるようになるための取組も求められていると思えます。放課後等デイサービスが子どもの安心安全な居場所となると共に働いている保護者の支援となりますので充実（内容・施設数）が求められると思えます。</li> <li>・ 障害児を持つ保護者が悩み・孤立化していくことがないよう関係機関が連携して，寄り添ってあげてほしいと思えます。</li> <li>・ 1歳6ヶ月児健診受診率の上昇は大変評価できる。ただ，現状では小学校，中学校の段階で発達障害との診断を受け入れなければならない方がまだ数多くいる。その場合，本人だけでなく保護者の支援もきめ細やかにしていただきたい。また地域社会が障害に対して理解を深められるような機会を設けていただきたい。</li> <li>・ 障害児への切れ目のない支援を実現するために作成された「サポートファイル」は，その目的の達成をより高めるために，児童に係る機関及び人がそのファイルを簡便に利用でき，新たなデータを書き加えて蓄積していけるように，より一層の機能強化が図られる必要があると考えます。</li> <li>・ 医療的ケア児を全員把握して適切な支援がなされているか，不足しているものはないか，災害時にどうするかなどを検討する必要がある。</li> <li>・ 健診受診率の向上に伴い早期発見できていると思われる。しかしサポートファイルの所持や支援の利用者が把握・決定されている児童より少なく，早期発見⇒支援に繋がっていない部分もある。今後の対策の目標に対する必達が求められる。</li> <li>・ 障害のある子供を持つ親が，子供の状況を早く認識し，制度を利用することの大切さやメリット等をPRされたい。</li> </ul>